

家全体がワンルーム。どこにいても快適



空気・風・光が抜けて、目隠しにもなる竖格子は、高断熱住宅との相性抜群。和モダンなデザインもいい。玄関側の格子引戸は子供の落下防止にもなる



キッチンから玄関土間まで目が行き届くから、子供の様子もばっちり。写真右手の南の窓と階段上の窓を開けておくと、風がない日でも気持ちいい



オープンな間取りでは、手元が見えないキッチンがうれしい。後ろは3枚引戸の大型収納で、生活感をすばり隠す。バス・洗面・トイレへの動線もいい



多用途な小上がりの畳スペースは、奈々世さんと樹くんの寝室としても使っている。収納がたっぷりあり、おもちゃの出し入れがしやすい

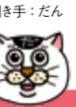


リビング階段上の窓とシーリングファンは、家全体の空気を循環させる大事な役目を担い、寝室・クローゼットとは小窓でつながっている



南面外観。外壁はシックなガルバリウム鋼板+竖板張り、東側の竖格子スクリーンとともに和モダンな印象の浅岡邸。屋根には3kWのソーラーパネルが載っており、月3600～5500円の売電メリットが得られるという。庭の植栽はこれから少しずつ手を入れていく予定

-DAN- High-performance housing makes for a healthy, happy home



住まい手の本音 Q&A

浅岡さんに聞く高断熱住宅の楽しみ方

余計な間仕切りや建具、廊下がないオープンなLDK。回遊動線なので家事がしやすく、子どもも飽きずに動き回れる。壁の珪藻土はDIY。床はオーク材

高断熱住宅ってどんなイメージだった?



正直あんまりピンときていなくて…
最初は床暖房と同列くらいにとらえていたかも



だから設計の鈴木さんに「床暖房を入れるくらいなら、高断熱住宅にしましょう」とはっきり言ってもらえたのはありがたかった



住宅の断熱性能が住み心地や健康とつながっていることがわかってきて、一番いいなと思ったのは、家じゅうの温度差がなくなること。祖母がお風呂で亡くなったこともあり、ヒートショックは身近な問題だったので



実際に暮らすと?



家の中が快適すぎて外の気温が全然わからない。洗濯物を干しに出て初めて「え!? 今日こんなに暑かったの? とか寒かったの?」とびっくりする



家じゅうを裸足で走り回ったり、バランスバイクを乗り回したり、子供の運動量がすごいことになってる。温度差や間仕切りがないからこそ、これだけ動けるんだと思う



季節の変わり目でも全然カゼをひかないし、いまも(10月下旬)暖房を入れずに薄い肌掛け1枚で寝られるのも体が楽で助かる



個人的には1年じゅう半袖で過ごせるのもうれしい



アパート時代は、部屋に冷暖房をかけてからじゃないと何もできなかった。その手間や時間がなくなった



夏の猛暑はどう乗り切った?



2台のエアコンを26度設定にして24時間つけっ放し。以前のクセが抜けずに、家族がいる1階だけ運転したり、つい電源を切っちゃったりしたけど、2階のエアコンをつけてシーリングファンで回したほうが効率よく快適になるのが実感としてわかった



いつもは髪がうとうとくなって切っていたけれど、この夏は全然気にならなかった



気になる電気代は?



8月の電気代は7545円。太陽光発電の売電分4800円を引くと、3000円弱の電気代で暮らせたことに



みんな猛暑で光熱費がかかると言っていたから、やっぱり高断熱住宅ってすごい。住み始めた頃は電気代の安さに感動したけど、いまは当たり前とってしまうのがちょっとコワイ



日射遮蔽をもっとちゃんとやると、あと3000円くらいは余裕で節約できる



設計者

そんなに? 来年がんばろう



冬は夏より電気代が上がる?



昼間はエアコンを切って太陽熱を採り込み、夕方5時にオンにすると電気代を節約しながらムリなく快適に過ごせる。これで、冬の電気代は月1万2000円いくかどうか。湿度は部屋干しや観葉植物で十分確保できる。厚い布団が要らなくなるし、布団から出るのも全然苦じゃなくなると思う



冬が楽しみだね

